

こんにちは

会社訪問記

ネットワークを活かして適正処理、
お客様のご要望にお応えするコーディネーター。

有限会社ビソー環境

(愛知県豊橋市)

豊橋市に本拠をおく有限会社ビソー環境。塀も囲いもないオープンな敷地内にある本社におじゃまし金海社長に事業内容や廃棄物処理に対する姿勢等をいろいろお聞きしました。

— 創業されたのは何年ですか。

金海社長 (以下金海に略)
『当社は昭和61年に創業いたしました。まだまだ若い会社ですね。』

— 社名のビソー環境の“ビソー”はどんな意味があるのですか。

金海『漢字に置き換えると美装になります。読んで字のごとく美しく装うです。環境を美しくする仕事であることを表しています。イメージ的に良いのでカタカナにしてあります。』

— 取扱い品目で一番多い物は何でしょうか。

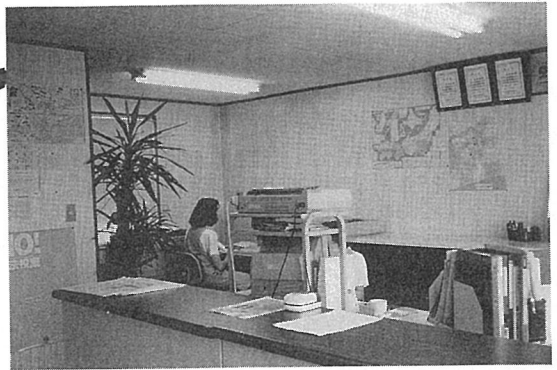
金海『廃プラスチック類ですね。敷地内に設置した破砕機で中間処理をしてから最終処分を行っています。』

— 産業廃棄物を取扱う基本姿勢を教えてくださいませんか。

金海『私たちの仕事は、単に産業廃棄物を片付けるためにあるのではなく、産業廃棄物をいかに処理するかが大切です。お客様にどのようなサービスを提供できるかに存在意義がかかっていると思います。私は収集運搬業はコーディネーターであるべきだという信念を持って業に取り組んでいます。お客様にできる限り多くの情報を提供し、こんな処理の方法もありますとか、こうやればもっと的確に減量・リサイクルができるという有益なアドバイスを行っていかないと。これからはお客様の方が業者をチョイスする時代になります。いろいろな情報を流すということは、短期的には事業のマイナス要因ですが、長期的に見れば絶対プラスになるはずです。オープンに情報を流し、本音のおつき



金海社長



社内

あいをさせていただくうちに、お客様の絶大な信頼感が生まれてきます。そうなれば、収集運搬料金が高い安いで右往左往することもなくなり、安定した事業が営めるようになるのではないのでしょうか。』

— 収集運搬業者はコーディネーターであるというのはなかなか鋭い発想ですね。

金海『廃棄物自体の発生量、流れを直視していけば、どう行動するべきかおのずとビジョンが見えてくると思います。例えば、お客様から依頼があっても、自社でできなければ、自分の持っている同業者のネットワークを活かしてそちらを紹介する。もちろん、紹介するからにはその会社が間違いなく適確な処理をやってくれるか最後まで見届けるのがコーディネーションだと思います。これからはそういうスタンスで業をやっていないと続いていけないのではないのでしょうか。自社の規模をしっかりと把握して、自分のところでできることをしっかりとしていけば見通しは決して暗いばかりではないと思います。現に、この考え方に賛同していただけるお客様も出てきていますから。自分に自信を持って取り組むことが一番重要なことだと、最近痛感しています。』



社名/有限会社ビソー環境 所在地/愛知県豊橋市神野新田町字タノ割66-2

代表者/金海 敏 創業/昭和61年 従業員/12名 TEL./0532(32)7468

事業所/本社、安城営業所 営業種別/収集運搬、中間処理(破砕)

取扱い品目/燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動燃性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鉱さい、建設廃材、ダスト類、引火性廃油、感染性産業廃棄物、特定有害廃石綿等